

ふりがな 氏 名	おぐら そういちろう 小椋 宗一郎	職 名	教授
取得学位	博士 (社会学)・一橋大学社会学研究科		
学 歴	一橋大学社会学研究科博士後期課程総合社会専攻 修了		
受賞歴等	日本生命倫理学会より平成19年若手論文奨励賞受賞		
所属学会	日本倫理学会、日本生命倫理学会、唯物論研究協会、日本ヘーゲル学会		

教 育 活 動

(主な担当科目)

2021年：哲学・思想、倫理学、基礎ゼミナールⅠ、医療倫理、生命科学、哲学概論
2021年：哲学・思想、倫理学、基礎ゼミナールⅠ、医療倫理、生命科学、哲学概論
2020年：哲学・思想、倫理学、基礎ゼミナールⅠ、医学総論、生命科学、医療倫理、哲学概論
2019年：哲学・思想、倫理学、基礎ゼミナールⅠ、医学総論、生命科学
2018年：哲学・思想、倫理学、基礎ゼミナールⅠ、医学総論、生命科学
2017年：哲学・思想、倫理学、基礎ゼミナールⅠ、医学総論、生命科学、ドイツ語

研 究 活 動

【著書等】

・「コラム4 「出生前診断・着床前診断」関連図書案内」、加藤泰史・後藤玲子（編）『尊厳と生存』、2022年5月30日
・『生命をめぐる葛藤』、生活書院、単著、2020年11月

【論文など】

・「ボースとカンギレムにおける「正常」概念について——ノーマライゼーション原理の思想史的研究のために」、名古屋哲学研究会（編）「哲学と現代」36、2021年2月
・書評「ルポ「命の選別」」、公明新聞、2021年2月22日
・書評「ディーター・ビルンバッハー『生命倫理学』」、「図書新聞」3378、2018年12月8日
・書評「山本由美子『死産児になる』」、「科学史研究」280、2017年1月号
・「着床前診断をめぐるドイツの論争——2011年のドイツ倫理評議会答申を中心に」、生命倫理学会（編）「生命倫理」通巻27号、2016年9月26日、63-71頁
・「着床前診断をめぐる最近の議論について——2011年のドイツ倫理評議会答申における「同一性」概念を参考に」、静岡哲学会（編）「文化と哲学」第33号、2016年7月20日、31-51頁
・「「妊娠葛藤」の意味について」、聖心女子大学キリスト教文化研究所（編）「宗教と文化」32、9-31頁
単著 2016年3月

【研究発表など】

・「人間の尊厳と妊娠葛藤相談をめぐるドイツの考え方について——日本の生殖補助医療法を視野に入れて」、ゲノム問題研究会議（オンライン開催）、2021年4月18日



受け継がれる、源とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

社 会 活 動

- ・唯物論研究協会委員 2018年10月～
- ・日本生命倫理学会編集委員 2021年2月～
- ・東海学院大学公開講座「健康って何だろう？」 2019/12



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY